

# スマイリング Smiling

思いをカタチに とともに創る 笑顔の学校

## 答えのある学習だけじゃない！

～「生き方」「学び方」を育む授業を実践～



押切小6年生 | 「これからの三川町のために、自分たちができること」について、こうふく押切っ子協議会委員との意見交換を行いました。



ペア学習やグループ学習を通して協力して考える力が育っています。

多様な価値観を受け入れる力が身についています。



いまドキ！  
みかわの  
小中学生

### 児童・生徒が主体となって学びあう学習が日常化

三川町の小中学校では、「児童・生徒主体の授業」や「探究的な学び」が日常的に取り入れられています。例えば、児童や生徒が設定した課題について、情報を様々な手段を用いて取り入れながら、対話による思考を重ね、学んだことをまとめにつなげていくという授業です。教師主導で進めていく授業形態だけでなく、児童・生徒主体の協働的な授業形態が増えてきています。

また、各学校では、「ふるさと三川に想いをよせる子どもの育成」をめざし、地域の環境や人材

を生かした教育活動を行い、地域とのつながりを大切にした学習に取り組んでいます。

今の子どもたちは、以前にも増して学習に意欲的に取り組み、情報機器を駆使して知識を取り入れ、積極的にまとめようとするたくましさが見られます。

学校での学びは、地域とかかわり「生き方」を育むことや、答えを求める学習から「自分で意思決定する学び」等へと変化してきています。

